

## ルート番号表示によるわかりやすい誘導

～ 道路利用者が、迷うことなくスムーズに目的地に到着 ～

### (1) 取組みの背景と必要性

#### 路線番号案内の充実

路線番号や路線名称による案内は誘導の円滑性に優れ、土地に不案内な訪問者や外国人観光客等に対しても分かりやすいことから、路線番号方式による案内の充実を図る。

#### 自動車交通の7割を担う都道府県道以上に重点化

国道+都道府県道の全道路に対する延長割合はわずか15%であるが、そこに自動車交通の7割が集中している。従って、国道及び都道府県道が相互に交わる交差点に重点化する必要がある。



【路線番号が表示された案内標識の例】

### (2) 達成度報告と業績計画

#### 総合的な取組みの推進

路線番号案内について、効率のよい整備を推進するため、国道が交わる交差点を重点的に整備（H17実績：75%）。併せて、平成16年12月の「わかりやすい道路案内標識に関する検討会」の提言を踏まえ、以下のような取組みを進めることにより、安全かつ円滑な道路交通の確保を図る。

- ・マネジメント型の標識計画・管理の実施
- ・交差点名の表示の充実及び道路地図・カーナビへの反映
- ・案内標識に表示する地名の連続性・一貫性の確保及び道路ユーザーへの周知
- ・歩行者案内のための地図標識の整備推進、「通り名で道案内」の社会実験 等

#### 小型で簡易な標識も活用した好事例

愛知県においては、基本的には通常の標識（右上の例）の整備を進めているが、交差点ごとの現場状況に応じ小型標識を採用【解消数68箇所（全体の4.1%）】。引き続き、景観や歩道幅への影響、コスト面などに配慮し、小型で簡易な標識も活用し整備の進捗を図る。

### (3) 代表的な指標の動向

#### 平成17年度末は対前年度比5ポイントの増

都道府県道以上が相互に交わる交差点における整備率は平成17年度末時点で65%（対前年度比+5ポイント）。平成16年度よりも整備交差点が増加しているものの、平成19年度末目標達成に向け、更に整備を加速させることが必要である。

H16実績	H17目標	H17実績	H18目標	H19目標
60%	69%	65%	78%	90%

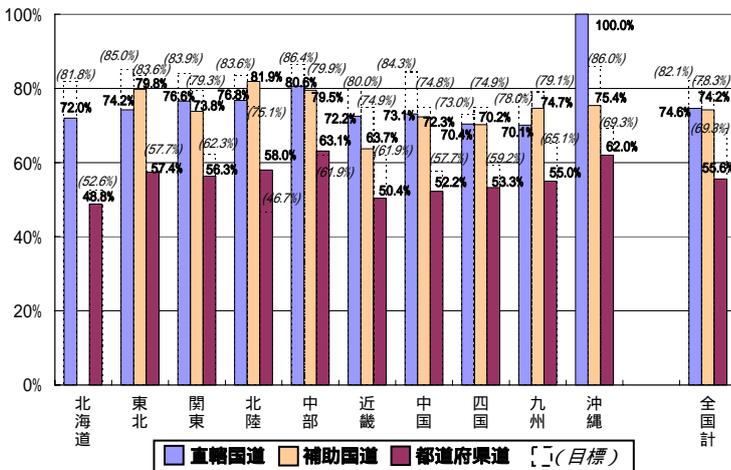


図 21-1 地方整備局等別整備状況



図 21-2 小型で簡易な標識の例

担当：道路局 企画課